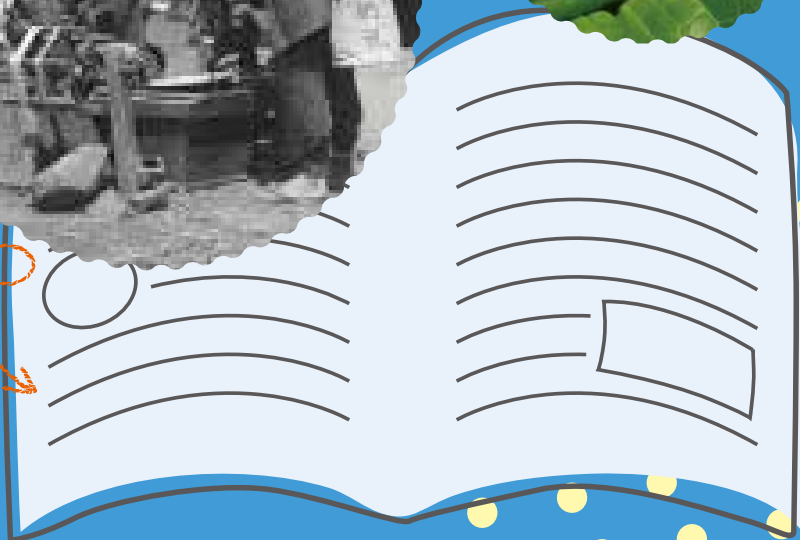


まち だ

# 町田のおカイコさん

## ガイドブック



# はじめに

この冊子は「町田のおカikoさん」展のガイドブックとして、小学校中  
から中学生までを対象として作成しました。ここに掲載している写真の中  
には展示していないものもありますが、みなさんが町田の養蚕について調べる  
ことができるよう、たくさん紹介します。

## まちだ 町田とカiko

カikoを育て、マユを収めるまでの作業を「養蚕」と言います。マユから  
生糸という糸ができ、これを加工すると絹(シルク)という丈夫できれいな  
糸ができあがります。

マユは身のまわりのものに  
変身するよ!



マユ

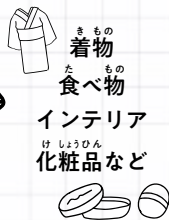


生糸



絹糸

絹糸はピカピカしているね



町田では江戸時代から昭和時代のはじめごろまで、農作業のあいまに養蚕がお  
こなわれていました。

### 町田で養蚕がおこなわれていた理由

- 糸とマユが集まる八王子と、生糸を外国へ輸出する中心的な港だった横浜を  
結ぶ道の間際に町田はあった。原町田が商業地として発展し、市では糸とマ  
ユが中心的な商品だった!
- 糸とマユは、お金をかせぎやすかった! などと考えられます。

しかし、生糸にかわる化学せんいの登場によって絹を使う機会が少なくなるなど  
の理由により、養蚕をおこなう家は少なくなりました。

# カikoのごはん「桑」

カikoに桑の葉をエサとしてあたえるこ  
とを「給桑」と言います。カiko100頭  
を卵からマユになるまで育てるには約6  
キログラム(約1600枚)の桑の葉が必要  
です。たくさんのカikoを育てるにはた  
くさんの桑の葉が必要なので、昔の町田  
には桑畑がたくさんありました。



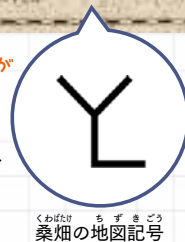
町田で見られる桑の木

## 昔の町田の地図



大日本帝国陸地測量部「原町田地形図」(1909年)  
町田市立自由民権資料館所蔵

桑畑の地図記号が  
たくさんあるよ



桑畑の地図記号



「春養蚕日記」(1907年)  
町田市立自由民権資料館所蔵

大きく良い桑の葉と、それを見つけた  
場所を記録したものだ。

カikoが大きく成長すると食べる桑の量もふえるので、  
子どもも桑つみなどの手伝いをしました。養蚕の仕事で  
いそがしくなる時は、「カiko休み」といって学校が休  
みになりました。

## マメ知識

大人の着物1枚を作るには、マユ約3000こ(約5キログラム)が必要だよ。

# ようさん しごと どうぐ 養蚕の仕事と道具

カイコが卵からマユに成長するまで、約1か月かかります。この間にさまざまな仕事を、たくさんの道具を使っておこない、大切に育てました。

## はき立て

種紙の上で卵からかえったカイコを、ほうきを使ってエビラ(飼育用の棚)へ移します。



種紙

カイコの卵が産みつけられている台紙です。カイコの卵は植物の種ににていることから「種」と呼ばれています。



はき立てほうき  
卵からかえったばかりのカイコは、とても小さいので、鳥の羽根でやさしくあつかいました。

## 飼育

**桑つみ** カイコのエサの桑の葉をつみます。

**給桑** カイコに桑の葉をあてます。

**除砂** カイコの食べ残しや、フンなどをそうじします。



桑切りかま



押し切り

小さいカイコには桑の葉を刻んであてました。



桑瓜という道具を使って桑の葉をつんでいるよ (図師町)

## 上ぞく

マユを作るため、まぶし(カイコがマユを作る道具)へカイコを移します。



まばち(かいこぼん) マユを作る直前のカイコを、まぶしへ移すために使いました。



回転まぶしの様子 (小山町)

## マメ知識

ひとつのマユからとれる糸の長さは約1000~1500メートルだよ。

## まゆかき

まぶしに作られたマユを収かくし、長く保存できるように、かんそうさせます。

## 毛羽取り

収かくしたマユの毛羽を取り、きれいにします。



毛羽取り機

## 糸引き

マユを煮てやわらかくなった糸(生糸)を引き出します。



座繰り



あげわく  
座繰りで巻き取った生糸を、糸と糸がくっつかないようにかわかしながら巻き取る道具です。



おばあさんが糸引きをしているよ (小野路町)

写真の道具のほかにも、たくさんの道具を使っていました。

## 出荷

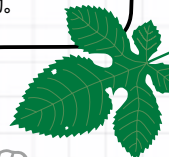
生糸を売ります。糸にせず、マユのまま売る場合もありました。



マユかご  
マユを運ぶ竹かご。



マユます  
マユの量をはかるいれ物。



# まちだの町田で見られる祈りのかたち

カイコはとても大切にされ、「おカイコさん」「おカイコさま」「おこさま」などと親しみをもって呼ばれていました。

そして、大切なカイコが元気に育ち、マユがたくさんとれるよう、神さまや仏さまにお祈りしました。今でも町田には、養蚕に関係する神社やお寺、言い伝えなどが残っています。



① 蚕種石 (相原町)

この石が青く光るのを見て「はき立て」の時期を知ったという言い伝えがあります。



② 馬鳴菩薩 (小山町  
中村不動尊境内)

まずしい人びとに衣服をあたえる仏さまで、養蚕や織物の仏さまでもあります。



③ 蚕影神社 (常盤町  
常盤不動尊境内)

茨城県つくば市にある蚕影神社から勧請(神さまの分身)をほかの土地でまつことしたと考えられる神社です。

## カイコの神さま



金色姫の掛軸  
(町田市教育委員会所蔵)



稚産霊神の掛軸  
(町田市教育委員会所蔵)

【画像左】金色姫

天竺(今のインド)から桑の木でできた船に乗り、日本へ養蚕の方法を伝えた人物という伝説があります。

【画像右】稚産霊神(左)

日本神話に登場する、カイコと桑を生み出した神さまです。手にはカイコ、カイコガがついている桑の枝、カイコの卵がついた紙を持っています。



⑤ 蚕影神社 (山崎町)



⑥ 不動山妙全院 (広袴)

妙全院の観音像は「糸引観音」として養蚕農家に大切にされました。



⑧ 蚕蛹供養碑 (三輪町  
熊野神社境内)

カイコのサナギを供養するために建てられました。



④ 子守神社 (矢部町 箭幹八幡宮境内)

正面にカイコガ、左側に桑の葉の模様があります。「蚕守」から「子守」に名前が変わったと考えられます。



⑦ 金色姫 (金井)

見学するときは、まわりの家や人の迷惑にならないように注意しましょう。

# まちだ ちきし し ぼしよ 町田の歴史を知ることができる場所

行ってみよう!

まちだ しりつじ ゆうみんげん しりつじかん まちだしの づたまち  
町田市立自由民権資料館(町田市野津田町897)

まちだ ちゆうしん じゆうみんげんうんどう まちだ れきし しりょう てんじ  
町田を中心とした「自由民権運動」や、町田の歴史についての資料を展示  
しています。

かいかんじかん  
開館時間 9:00~16:30

きゅうかんび げつようび しゅくじつ ばあい かいかん よくじつきゆうかん ねんまつねんし  
休館日 月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始



自由民権資料館

みわ もり きょうど しりょうてんじしつ まちだしみわまち  
三輪の森ビジターセンター 郷土資料展示室(町田市三輪町740)

つるかわいさ ちゆうしん びかし どうぐ てんじ  
鶴川地域を中心とした、昔のくらしの道具を展示しています。

かいしつじかん  
開室時間 9:00~16:00

きゅうしつび げつようび しゅくじつ ばあい かいかん よくじつきゆうかん ねんまつねんし  
休室日 月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始



郷土資料展示室

まちだしこうこしりょうしつ まちだししもやまだまち  
町田市考古資料室(町田市下小山田町4016)

まちだ はっけん じょうもんじだい やく ねんまえ のき どうぐ てん  
町田で発見された縄文時代(約16000~2400年前)の土器や土偶などを展  
示しています。

かいしつじかん  
開室時間 10:00~16:00

かいしつび だい どのちようび しゅくじつ がつ まいしゅうど にちようび しゅくじつ  
開室日 第2・4土・日曜日、祝日/7・8月は毎週土・日曜日、祝日



考古資料室

ひんがくむりょう  
すべて見学無料

## し み たの インターネットで知る! 見る! 楽しむ!

まちだ  
町田デジタルミュージアム

まちだ れきし しりょうやく てん  
町田の歴史資料約2000点をインターネットで見ることができます。



町田デジタル  
ミュージアム

## 町田のおカイクさん ガイドブック

発行日: 2023年7月22日

編集: 町田市立自由民権資料館  
TEL 042-734-4508  
(担当: 佐久間かおる、井上茂信)

発行: 町田市教育委員会  
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22

刊行物番号: 23-15

印刷: ニューカラー写真印刷株式会社

この冊子は3,000部作成し、1部あたり単価は68円です(職員人件費を含みます)。

伝えたい歴史があるから

いいこと  
ふくらむ  
まちだ

